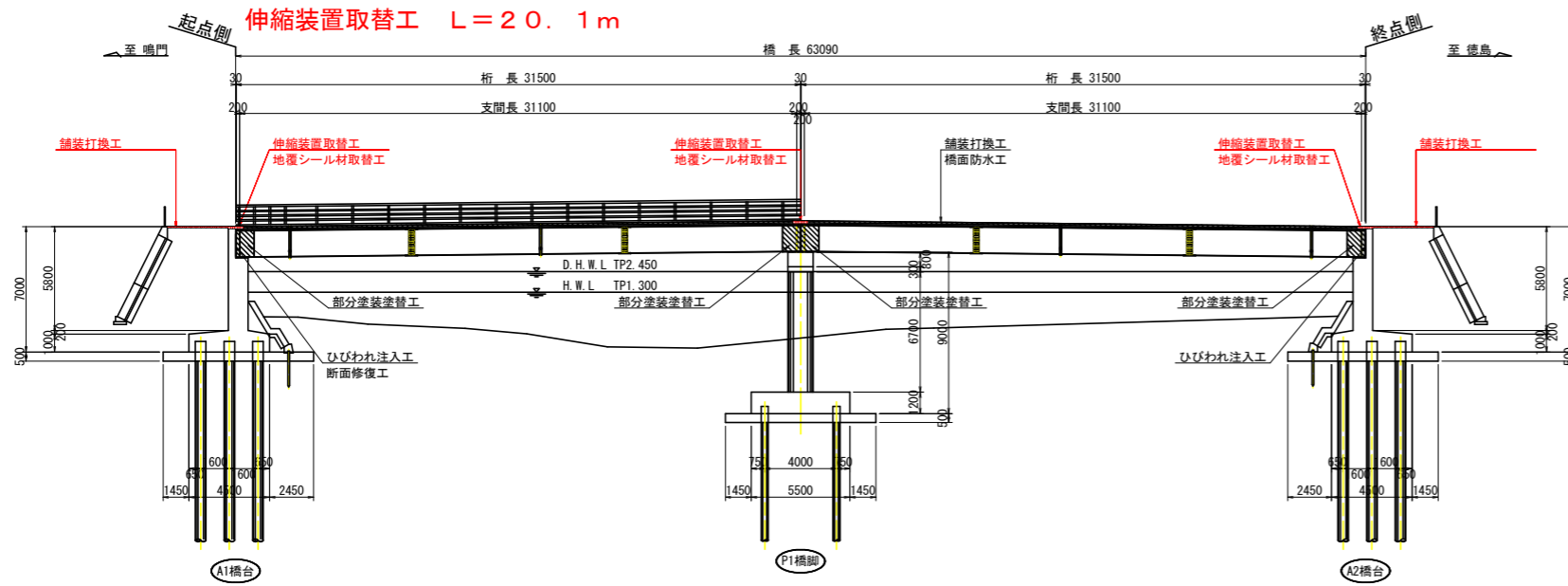
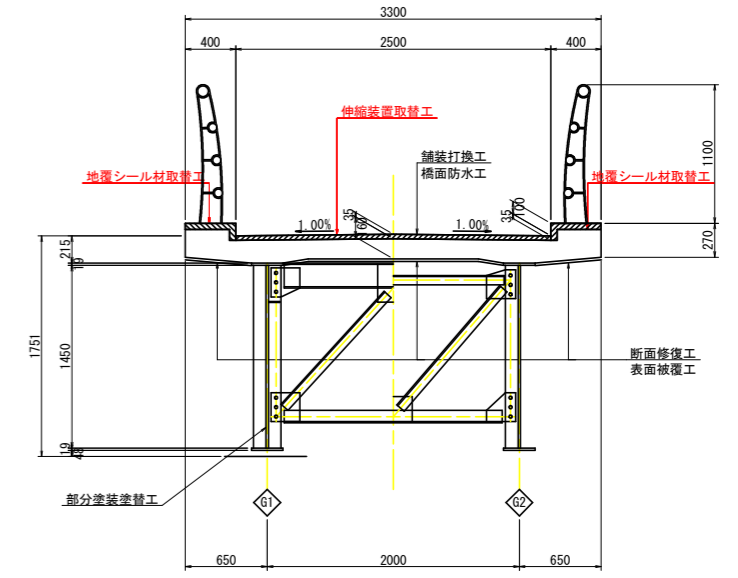


# 川内橋 補修計画一般図

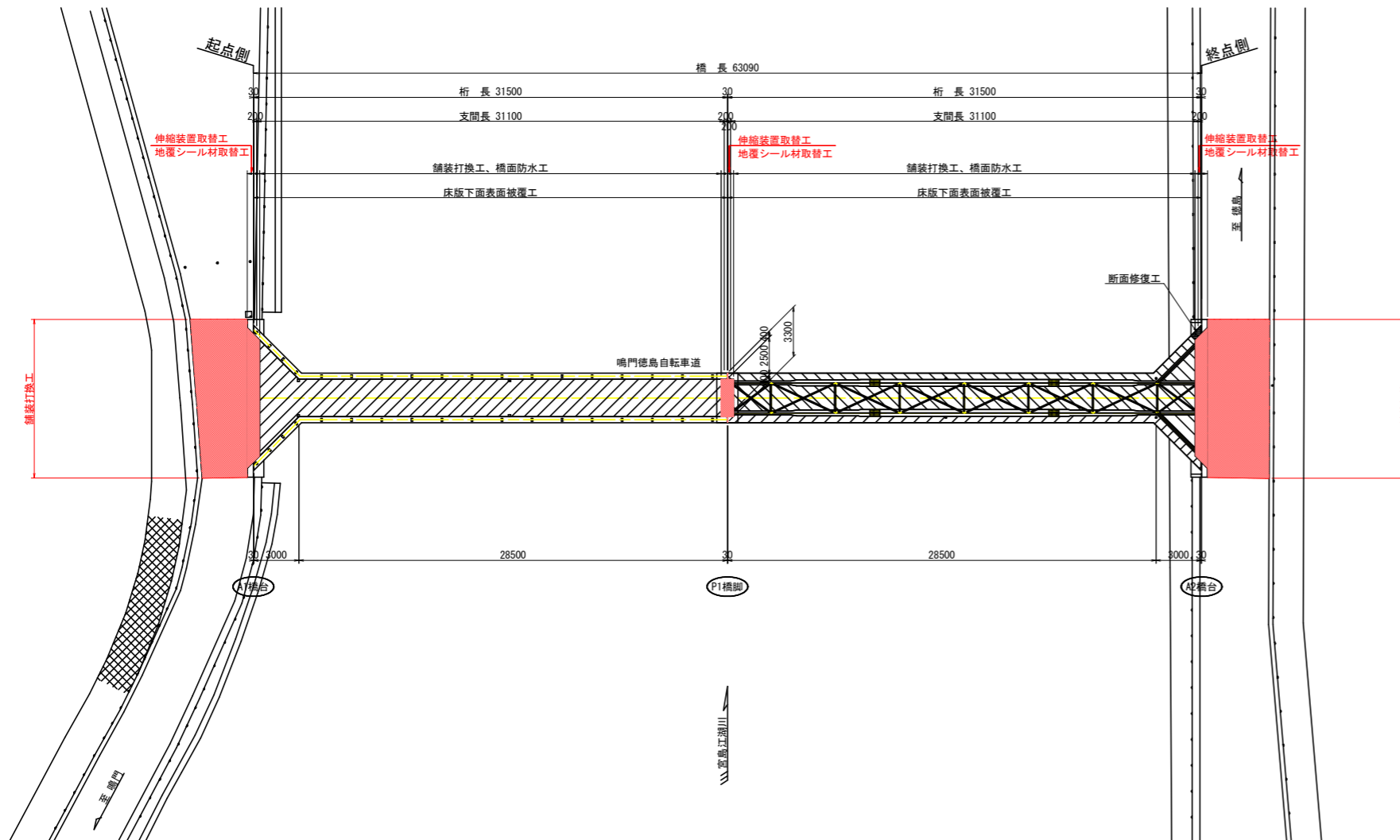
側面図 S=1:200



断面図 S=1:30



平面図 S=1:200



## 川内橋 橋梁諸元

路線名	一般県道 鳴門徳島自転車道線
橋格	自転車道
橋長	63.09m (道路中心線上)
桁長	31.50m+31.50m
幅員	全幅員:3.30m (有効幅員:2.5m)
斜角	A1:90° 00', A2:90° 00'
上部工	非合成RC床版桁橋
下部工	逆T式橋台, T型橋脚柱円型(RC), 鋼管杭基礎
架設年次	昭和54年(1979年)
適用示方書	道路橋示方書・同解説 昭和48年

## 橋梁補修計画一覧表

対象部材	工種	種別
床版下面	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	表面被覆工	柔軟形ふっ素塗装
主桁	部分塗装塗替工	Rc-III型
	伸縮装置取替工	荷重支持型(非排水型)
橋面	地覆シール材取替工	シール工
	橋面防水工	塗膜系防水
	舗装打換工	アスファルト舗装 t=35mm
A1、A2橋台	ひびわれ注入工	可とう性エポキシ樹脂(ひび割れ幅1.0mm未満に適用)
A1橋台	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
橋台背面	舗装打換工	アスファルト舗装 t=50mm, 背面処理工(可換性踏掛板)
	車止め取替工	車両進入抑制柱

注記) 本図面の橋梁形状及び寸法等は、既存資料より復元した内容である。

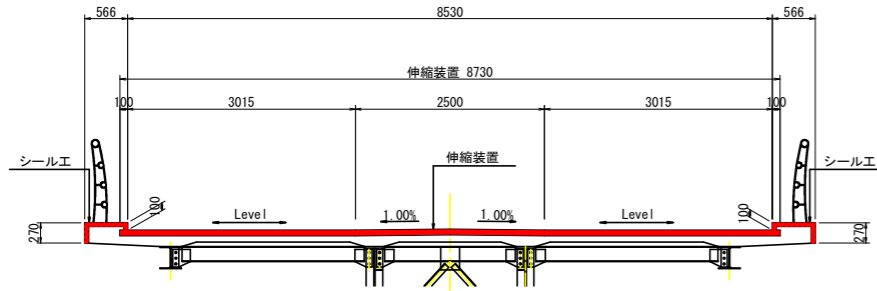
工事名	R2徳島 鳴門徳島自転車道線 徳・川内 橋梁修繕工事(2)
路線名等	鳴門徳島自転車道線
工事箇所	徳島市川内町(川内橋) (第2分割)
図面名	川内橋 補修計画一般図
縮尺	図示 図面番号 1 / 3
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)

# 川内橋 補修計画図(5)

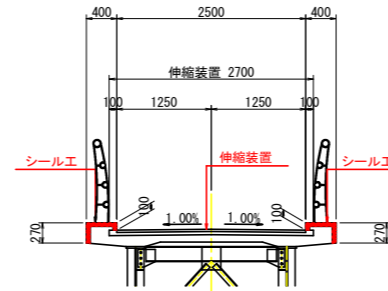
## 伸縮装置取替工

断面図 S=1:50

A1橋台・A2橋台

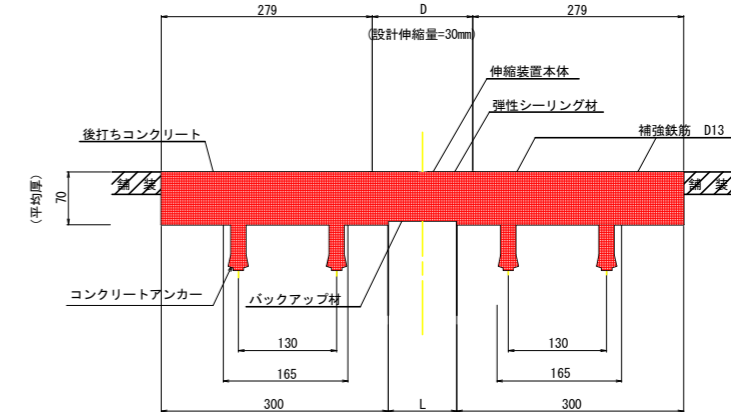


P1橋脚

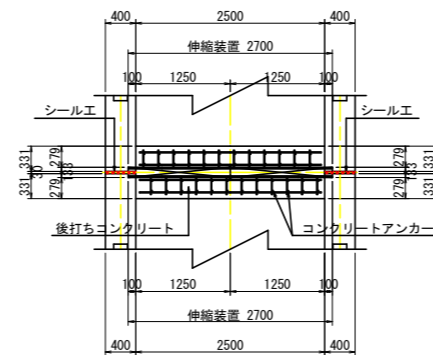
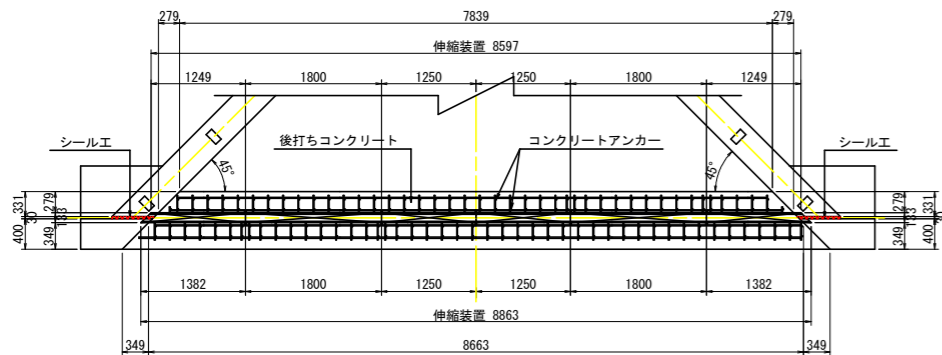


伸縮継手断面図 S=1:5

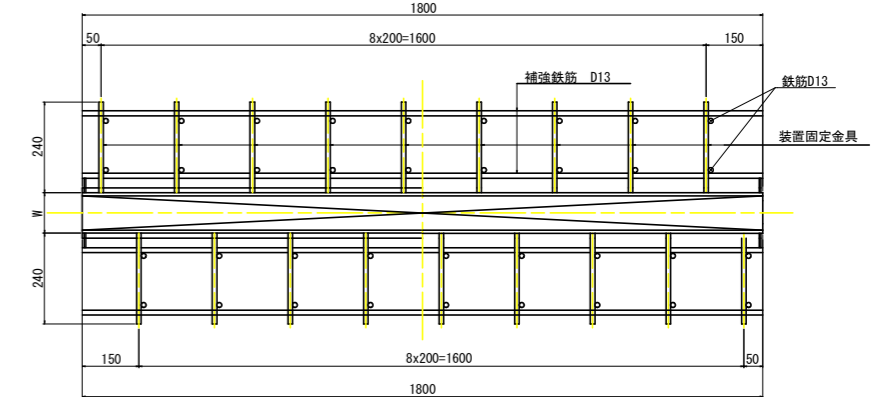
(車道用荷重支持型+非排水型装置)



平面図 S=1:50

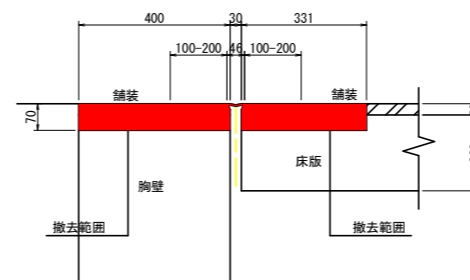
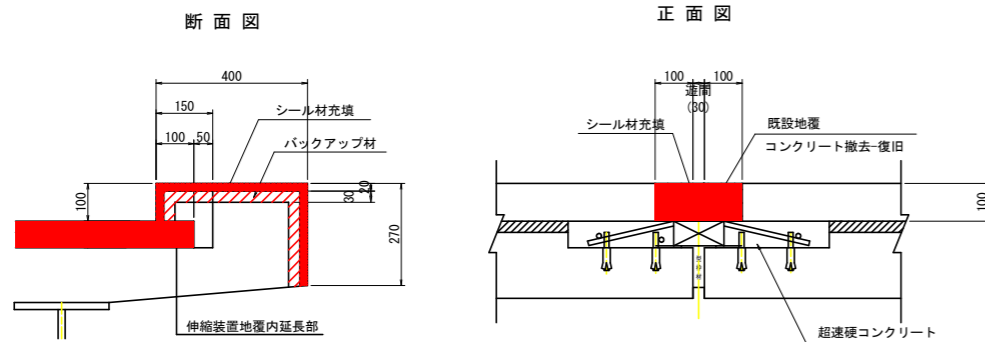


平面図 S=1:10



地覆部詳細図 S=1:10

既設伸縮装置撤去図 S=1:10

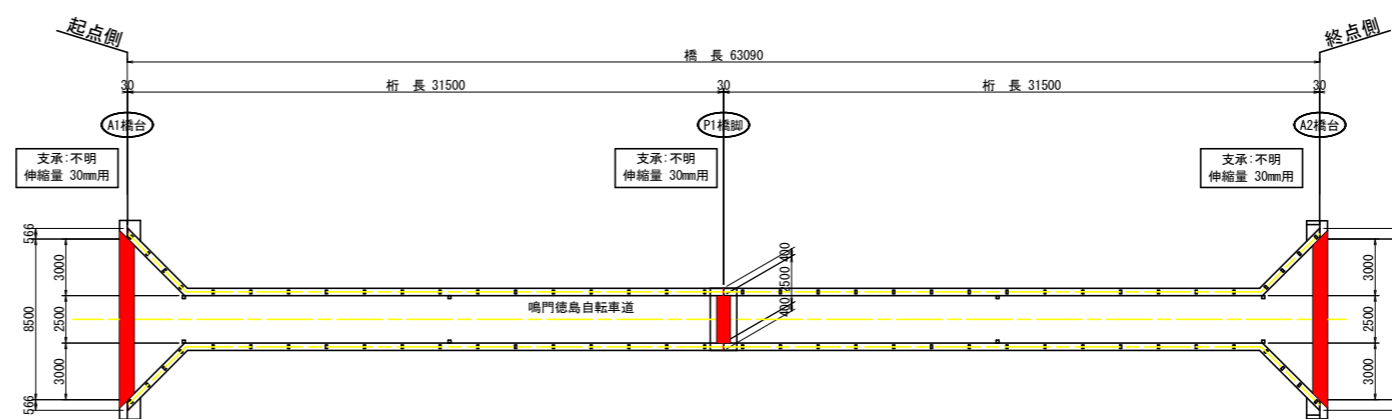


伸縮継手材料表

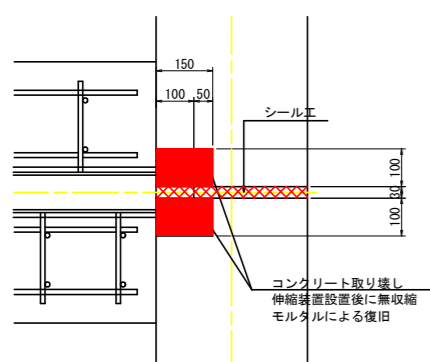
名称	材質	A1数量	P1橋脚	A2数量	合計数量	備考
伸縮装置 設計伸縮量30mm用	SS400 SS045 弾性シーリング材 再生チップ 樹脂系接着剤	8.730 m	2.700 m	8.730 m	20.160 m	
シーリング材	シリコン系	1.12 リッター	0.92 リッター	1.12 リッター	3.16 リッター	
後打ちコンクリート	超硬コンクリート	0.44 m <sup>3</sup>	0.12 m <sup>3</sup>	0.44 m <sup>3</sup>	1.00 m <sup>3</sup>	
コンクリートアンカー D16用		178 本	48 本	178 本	404 本	

注) 伸縮継手長及び遊間は、現地測量後決定する事。

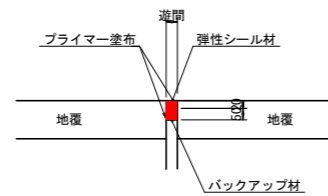
平面図 S=1:200



平面図



シーリング材充填図 S=1:10

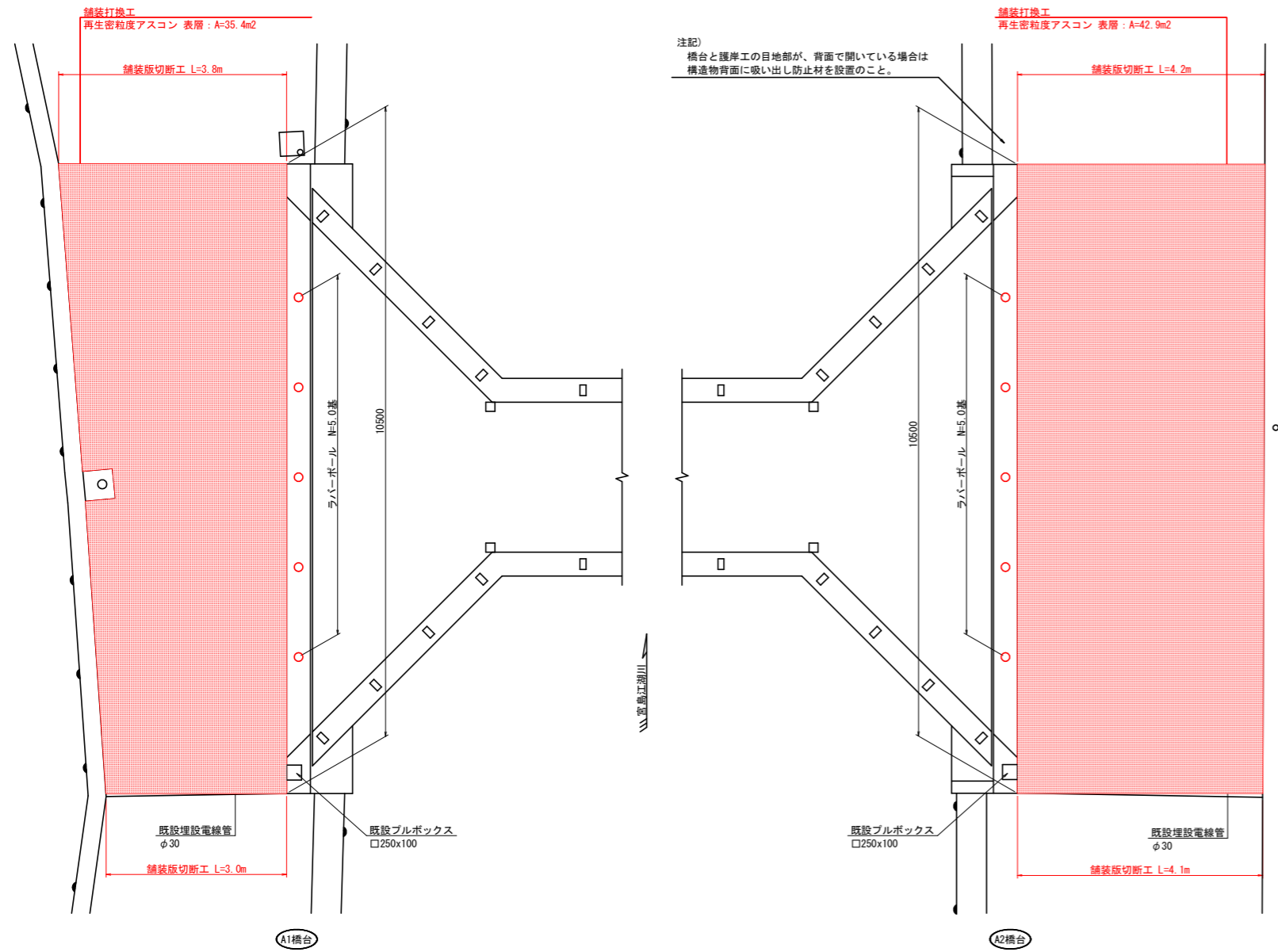


注記)  
本伸縮装置における主な仕様は以下のとおりである。  
1. 伸縮装置は、車道用荷重支持型の非排水型装置とする。  
2. 設計伸縮量は、30mm以上の機能を有する装置とする。  
3. 既設橋は、舗装厚35mmで床版厚が140mm程度のため、後打ちコンクリート厚さは70mm程度の装置とする。  
4. 使用する装置については、監督員に承認を受けるものとする。

工事名	R2徳島 鳴門徳島自転車道線 徳・川内 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	鳴門徳島自転車道線		
工事箇所	徳島市川内町(川内橋) (第2分割)		
図面名	川内橋 補修計画図(5)		
縮尺	図示	図面番号	2 / 3
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		

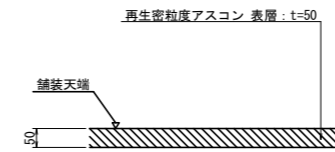
# 川内橋 補修計画図(6)

平面図 S=1:50



注記)  
橋台と護岸工の目地部が、背面で開いている場合は  
構造物背面に吸い出し防止材を設置すること。

断面図



※A2橋台側は、左右逆となる。

名称	算式	数量	備考
再生密粒度アスコン	A=35.4+42.9	78.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断工	L=3.8+3.0+4.2+4.1	15.1	m
舗装版破砕工	A=35.4+42.9	78.3	m <sup>2</sup>

名称	算式	数量	備考
ラバーポール	N=5.0x2	10.0	基

注記)

- 密粒(13)改質II型アスファルト混合物は人力にて敷き均しを行うこと。
- 上流側に道路横断管(照明灯電線管 埋設深さ700mm)が埋設されているため、施工時には注意すること。
- 鋼製六角パネルが、照明灯基礎及び電線管に干渉する場合は、発注者と協議の上、切断加工を行うこと。
- 不等辺山形工の設置に際して、電線管及びブルボックスが干渉する場合は、発注者と協議の上、切断加工を行うこと。

工事名	R2徳島 鳴門徳島自転車道線 徳・川内 橋梁修繕工事(2)		
路線名等	鳴門徳島自転車道線		
工事箇所	徳島市川内町(川内橋) (第2分割)		
図面名	舗装補修計画図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 3
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島庁舎)		